



令和5年度11月27日号

校訓 ともに高め合う

心豊かな

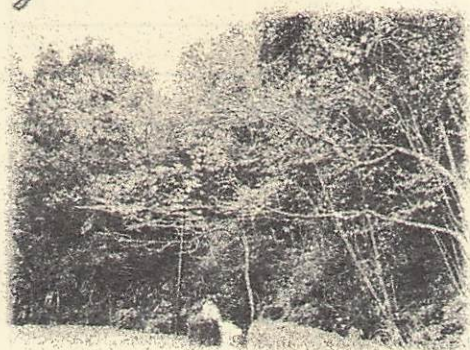
実行の人

締めくくりの師走を迎えます

今年の秋は気温の高い日が多く、秋を感じる日が少なかった印象がありますが、学校周辺の木々も色づき、そして落葉し、季節はしっかりと冬へと移り変わっているようです。

早いもので、もう師走(しわす)を迎えます。

気温もぐっと下がってきました。体調管理には、十分に気をつけてください。



休眠打破 花開く春に向けて

正門周辺の桜をよく見ると、蕾を見つけることができます。

桜の芽は、夏のうちに形成されます。花が散り、葉桜となる頃、葉は休眠物質を作ります。

蕾に休眠物質をため込み、成長することなく、秋にかけて「休眠」という眠った状態に入ります。

秋から冬にかけ低温に耐えることで休眠物質は徐々に減少し、蕾は目を覚まします。これを「休眠打破」と呼ぶそうです。

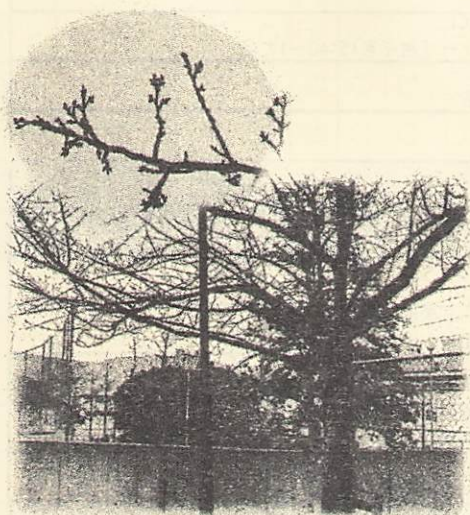
その後、春に向けて気温が上昇することにより、芽は成長し、開花を迎えます。美しい花を咲かせるポイントは、低温に耐える辛い冬を乗り越えることなのです。

気温差が大きくなれば大きくなるほど開花は早くなるそうで、春の気温が例年よりも高くても、暖冬だった場合は冬と春の気温差が小さいので、開花が遅くなります。

この桜の成長過程は、私たちに共通していると思いませんか。

休息は大いに必要ということ。そして、花を開かせるためには、試練の時も必要であるということ。

3年生のみなさん、辛さに負けず来年の春、まさに「サクラサク」のごとく、自分らしい花を開かせることがこれからの目標です。



受験勉強で辛く苦しい、今この時が「明るい春」に大切で必要な時であることを心に留め、自分と向き合い歩みを進める、そんな力強さを培う時です。

最終学年への進級を控えた2年生も、これから大塚中学校を支える中堅学年となる1年生も年明けは新学年です。

時に悩み、不安な気持ちに心が揺れることもあるかもしれません。それが心の成長にとって悪いことばかりではないことを、桜の話は教えてくれていると思います。

みなさんも、これから辛いことや悲しいことがあったときは桜を思い出し、自分を成長させるチャンスだと思い、今この瞬間を、噛みしめるように大切に過ごしてください。そして、来年の春に自分らしい花(成果)を咲かせましょう。

「辛」という漢字と「幸」という漢字はたったの「一」の違いです。がんばれ、大塚中生！

子どもが伸びる習慣

【言葉の習慣】	人を気持ちよくさせる挨拶ができる。 「ありがとう」がしっかり言える。よい言葉、美しい言葉を使う。
【動作の習慣】	姿勢がいい。きびきびしている。相手の目を見て話をきく。
【表情の習慣】	笑顔。
【考え方の習慣】	できないのは自分が原因、できたのは〇〇のおかげという考え方。 だいたいではなく100%理解しようとする。
【目標の習慣】	目標が明確で具体的。だから決断できる。
【態度の習慣】	親に感謝し、親を尊敬している。 良いライバルがいる。 身の回りの整理整頓ができる。 靴をピシッと揃える。椅子をきちんとしまう。 時間を守る。時間前に準備を終える。 ムツとしてもムツとした顔をしない。
【学習の習慣】	計画的に勉強する。プリントをしっかり綴じる。 提出物を計画的に提出する。 勉強と遊びの時間をしっかり区分けする。 テストの日程をはっきりわかっている。 テストの日程に合わせ、計画を立てている。

これは、「親が子どもに教える『一番大切なこと』」という本からの抜粋、「子どもが伸びる習慣」です。

1つ1つは特別なことではないので「こんなことで伸びるの？」と思われるかもしれませんが、試しに、自分の生活の中に活かしてみてください。



大塚中 HP で生徒の活動の様子をご覧ください！

広島市立大塚中学校

検索

クリック

月行事は
裏面です